

令和7年度 事務事業評価シート（1）

[令和6年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	国際機関との連携事業			事業番号	008-065
担当部署名	文化観光	局	歴史遺産活用部 博物館	部	学芸

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(3)類稀な堺の歴史文化資源を活かした戦略的な観光誘客の推進		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①堺の歴史文化資源を活用した滞在、消費拡大促進				
		有・無	指標名	大仙公園エリアへの来訪者数					
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	目標値	60.0万人(2025年度)		
		寄与するKPI	有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信				
		有・無	指標名	—					
		無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画	—							
3	事業開始年度	平成 23 年度			点検対象年度	令和 7 年度			
4	実施根拠	—							

事業の概要

5	事業の実施主体	堺市博物館							
6	事業の対象	市民及び本市への来訪者						対象数	単位
								-	-
7	事業の目的	アジア太平洋無形文化遺産研究センター（IRCI）との連携事業を通じ、多文化共生社会の実現に資することを目的とする。また、歴史的につながるの深いアジアをはじめとする国々との文化交流を促進し、地域の活性化に繋げることを目的とする。							
8	事業内容	<p>IRCIなどの研究機関と連携し、無形文化遺産理解セミナー、ワークショップを実施した。また、堺式手織緞通の技術伝承者の協力のもと、当館所蔵の堺緞通織機を用いて、堺緞通の製織実演をおこなった。上記の事業のほか、無形文化遺産に関するユネスコの取り組みや本市の事業を紹介する解説パネルや報告リーフレットの作成を行った。</p> <p>○研究機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月10日（土）無形文化遺産理解ワークショップ「ミニ緞通を織ってみよう」堺式手織緞通技術保存協会 21人 ・9月21日（土）無形文化遺産理解セミナー「星と風と波 - オセアニアの航海術とカヌーづくり -」須藤健一（堺市博物館 館長） 45人 ・9月29日（日）無形文化遺産理解セミナー「シルクロード遊牧民が受け継ぐ無形文化遺産「鷹狩」の知と技法を求めて」相馬拓也（京都大学白眉センター 特定准教授） 53人 ・12月1日（日）無形文化遺産理解セミナー・ワークショップ「フィリピン民族舞踊にふれあおう」並木香奈美（アジア太平洋無形文化遺産研究センター アソシエイトフェロー） 60人※IRCIと共催 <p>○堺緞通の製織実演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月30日（水）、11月6日（水）、12月4日（水）、12月11日（水） <p>○広報事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記事業のインターネットやチラシによる周知および『無形文化遺産事業報告』リーフレットの刊行 							
	※国・府の基準より上回って実施した内容								
9	主な支出先	委託業務の受注者							
10	公民連携・協働事業								

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度	
				目標値	200	250	200	200
				実績値	500	429		
			達成率	250%	172%			
	当該指標を選定した理由	募集予定人数等を目標値とした。						
	目標値の設定根拠・算出方法	セミナー等の募集予定人数等をもとに算出。令和5・6年度の実績値は、緞通の製織実演の見学者を計上したが、令和7年度は、臨時休館により製織実演を行わないため、この参加者数を考慮しない目標値を設定。						
12	活動指標	単位		実績		目標		
				令和5年度	令和6年度	令和7年度		
				目標値	5	5	4	
				実績値	5	5		
			達成率	100%	100%			
	当該指標を選定した理由	無形文化遺産の価値を知ってもらうためには、魅力ある展示、セミナーやワークショップ等の開催が必須である。（令和5年度に活動指標を変更した。）また、観覧者数の増加に繋がることから、休日・祝日等を中心に開催している。						
	目標値の設定根拠・算出方法	IRCIとの協議による共催回数に加え、臨時休館を除く休日・祝日等を中心とした日程で現状の職員数で実施可能な回数設定。						

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	国際機関との連携事業	事業番号	008-065
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト		※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）			
項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	627	1,648	1,279	826	2,166
13 財 源 内 訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	627	1,648	1,279	826	2,166
14 人件費 (b)	5,080	5,040	4,940	4,940	5,360
15 年間経費 (c)=(a)+(b)	5,707	6,688	6,219	5,766	7,526

事業費の内訳		（単位：千円）							
項目	年度	事業費	うち 一般財源	項目	年度		事業費	うち 一般財源	
					R6	R7			
16 事 業 費 内 訳	謝礼金	R6 決算	121	121	印刷製本費等	R6	決算	196	196
		R7 予算	150	150		R7	予算	345	345
	費用弁償	R6 決算	37	37	通信運搬費	R6	決算	38	38
		R7 予算	104	104		R7	予算	95	95
	普通旅費	R6 決算	0	0	筆耕翻訳料	R6	決算	38	38
		R7 予算	79	79		R7	予算	70	70
	消耗品費	R6 決算	291	291	展示パネル等作製業務	R6	決算	100	100
		R7 予算	300	300		R7	予算	1,000	1,000
	食糧費	R6 決算	5	5	その他（保険料、使用料及び賃借料）	R6	決算	0	0
		R7 予算	7	7		R7	予算	16	16

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
区分	単位	令和5年度		令和6年度	
		数	金額	数	金額
① 無形文化遺産理解セミナー等の参加者数	人	500		429	
② 上記①にかかる年間経費	千円	6,688		5,766	
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	13,376		13,441	
算出についての説明等					

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	<p>令和6年度は、無形文化遺産の理解促進に向け、無形文化遺産に関連したセミナーやワークショップを合計5回を開催した。開催にあたっては、IRCIとの連携を強化や、セミナーと兼ねたワークショップの開催など体験型の事業の充実や工夫を行うことで、費用面での削減を行った。</p> <p>また、大阪府無形民俗文化財に指定された「堺緞通」の実演を行い、4日間で約250名の観覧者に実演を観覧いただくことができ、無形文化遺産の普及啓発や情報発信に繋がった。</p>
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	<p>無形文化遺産に関するセミナーやワークショップを開催し、世界各地の無形文化遺産を紹介することは、博物館の常設展示とは違った角度から堺の歴史・文化や伝統産業の紹介が可能となり、博物館の来館者増に繋がり、ひいては大仙公園エリアへの来訪者数の増加にも貢献した。</p>